

2024年7月16日



公式キャラクター  
はまなか あい

# プレスリリース



## 新システムの稼働について

福島銀行（取締役社長 <sup>かとう たかひろ</sup>加藤 容啓）は、これまで開発を進めてまいりました「次世代バンキングシステム」へ移行し、本日稼働を開始しましたのでお知らせします。

新システムへの移行作業にあたり、2024年7月12日（金）から2024年7月15日（月）までの間、すべてのオンラインサービスを休止させていただきました。お客さまには大変ご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、格別のご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

### 1. 「次世代バンキングシステム」について

「次世代バンキングシステム」（以下本システム）は当行、SBIグループであるSBI地方創生バンキングシステム株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 森田 俊平）およびフューチャーアーキテクト株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 谷口 友彦）によりゼロベースで開発した「地域金融機関向けのクラウドベースの勘定系システム」です。



### 2. 本システム導入の経緯

当行は、2019年11月11日にSBIホールディングスと資本業務提携契約を締結し、グループを通じて様々な連携を実施しております。また、前中期経営計画「ふくぎん 福島創生プロジェクト」（計画期間：2021年4月1日～2024年3月31日）では「DX化の推進」を主要施策の一つとして掲げ、業務改革・効率化を図ってまいりました。そのような取組みの中、2022年1月20日には本システムのファースト利用行となることを発表し、SBIグループ、フューチャーアーキテクト株式会社

と共に開発に取り組み、この度稼働を開始したものです。

### 3. 本システムの特徴

- ① ゼロベースで構築、データをシンプルに
  - ・システムをゼロベースから構築することにより、データの持ち方も「銀行中心」から「お客さま中心」とすることで、手続きがシンプルになり業務効率化を図っています。
- ② デジタルベースにより、ペーパーレス・印鑑レス
  - ・タブレットやセルフキャッシャーを導入することで、銀行事務を紙からデジタルベースに変革し、お客さまの利便性向上を図るとともに、印刷コストの削減や店舗の省スペース化など業務効率化を実現します。
- ③ フルオープン API により、簡単外部連携
  - ・フィンテック企業の新しい金融商品やサービスを取り入れやすいシステムとなり、お客さまへタイムリーに新サービスの提供が可能になります。
- ④ ルールエンジンで開発スピードUP
  - ・「条件」と「アクション」の組み合わせで構成されるビジネスルールをあらかじめシステム内に構築することで、システム開発の時間を大幅に短縮します。
- ⑤ クラウド化及びシステム賃借により、コスト削減
  - ・本システムは AWS (Amazon Web Services) に SBI グループが構築した「SBI 金融クラウド」環境で稼働します。また、システムを賃借することによりコストの平準化を実現しています。

### 4. 今後の展開について

当行は、2024 年度からの5年間を計画期間とする新中期経営計画「SHIN ふくぎん中期経営計画」(2024 年4月1日~2029 年3月31日)を策定し、取り組みを開始しました。基本方針は、「『デジタル』のチカラで『リアル』の力を最大化」としてあります。具体的には、本システムを最大限に活用し、徹底的に業務をDX化(デジタル)することで事務量を半減し、地域金融機関の使命である対面(リアル)での「事業者支援」と「資産形成支援」に人的資源を集中すること、また、エリア営業体制や人材育成に注力し、対面営業の質的・量的向上及びコンサルティング営業を強化することに取り組んでまいります。その上で、「事業者支援」や「資産形成支援」を通じて地域経済を支え、地元福島の発展に貢献できる真のリージョナルバンクを目指します。

以上

福島銀行システム移行に関するお問い合わせ窓口  
TEL 0120-27-2940

報道機関のお問合せ先  
総合企画部 経営企画課 広報室 金成 TEL 024-525-2973